

Jリーグ史

辻野 裕斗

<目次>

1. はじめに
2. 設立経緯
3. 現在
4. おわりに

1. はじめに

Jリーグは日本を代表するサッカーリーグであり、今年で25年目を迎え、大いに盛り上がっている。

そういった長い歴史のあるJリーグは、設立・開催し発展するまでにはたくさんの苦悩があり、経済にも大きく関りがある。

そこで以下ではJリーグが誕生してから現在に至るまでの経緯について解説する。

2. 設立経緯

日本におけるサッカー競技団体としては、アマチュア主体の全国リーグである日本サッカーリーグが存在していたが、マスメディアにも大きく扱われるほどの存在ではなかった。そういった状況を打破しようと、木之本興三がJリーグ設立の事務局長となり、1982年からリーグ主導の試合開催から、各チームが試合を主催する「自主運営」に移行などを行った。だが状況を変えるまでには至らなかった。

一方、水面下では「JSL 第一次活性化委員会」が極秘に「スペシャルリーグ構想」を進めてきた。だが、協会内では、“JSLの活性化”

では意見が一致したが、“リーグのプロ化”に対しては当時 1 部リーグに所属する実業団チーム出身の役員たちを中心に「プロ化は早い」などの意見が大勢を占めていた。このため計画は進まなかった。

ところが、1980 年代後半に日本サッカー協会は、FIFA の会長であったジョアン・ヴェランジェから当時のアジア初開催となる W 杯の日本開催を打診され、「第一次活性化委員会」において最終的に J リーグ設立を正式に決定した。1988 年 10 月から開催された「第二次委員会」において J リーグ構想が具現化され、1991 年 7 月 1 日に浦和、川崎、市原、横浜、清水、名古屋、大阪、広島、鹿島と大都会のみならず地方の地域のチームを作り、日本初のプロサッカーリーグの「J リーグ」が誕生した。そして観客動員数を増やし J リーグをより一層盛り上げるために海外から有名選手を招きスター対決を見られる環境を作りリーグを盛り上げた。

J リーグが創設されると川淵が J リーグチェアマンとして、日本代表の強化委員長としてマスメディアに盛んに露出し脚光を浴びた。このため、J リーグは川淵が作ったかのようにイメージが付いた。プロリーグの創設は、日本のサッカーを盛んにしたい、強くしたいという多くの人たちの長年の仕事の積み上げにより作られたものではあるが、最後の一步は川淵のバイタリティ、強引さが大きな原動力になった。

そして 2002 年に開催された日韓ワールドカップは日本がワールドカップを開催するにふさわしい国であることを証明するためにも、FIFA の要求を満たすスタジアムの建設などの他、日本代表のワールドカップ初出場を念頭に置いた強化とそれに伴うプロリーグ創設、成功が不可欠となった。

ワールドカップはオリンピックとは違い、全国展開のため、各地域に FIFA の要求を満たすスタジアムを造らねばならず、ワールドカップの招致とプロリーグ創設を結び付けた。そうした結果、韓国との協力もあり日韓ワールドカップは成功した。

入 れ 替 え 制 度	J1	J2	J3
2009	下位 3 チーム 自動降格	上位 3 チーム自動昇格	上位 2 チーム自動昇格
2010			
2011			
2012	下位 3 チーム 自動降格	上位 2 チーム自動昇格 ＋ 年間 3～6 位がトーナ メントを行い勝ち残 った 1 チームが昇格 (2014 年～) 下位 2 チ ーム自動降格	
2013			
2014			
2015			
2016			
2017			
2018	下位 2 チーム自 動降格 ＋ 残り 1 チームは 昇格プレーオフ	上位 2 チーム自動昇格 ＋ 年間 3～6 位がトーナ メントを行い勝ち残 った 1 チームと J1 の 年間 16 位と試合を行 い勝ったほうが J1 へ	

3. 現在

現在の J リーグは、一般人がスタジアムに足を運び試合観戦できるよう土曜日や日曜日におこなっている。なお、リーグ戦の最後の試合では全試合の開催日、開催時間が統一されている。また、入れ替え制度というものがあり、J 1 の場合 2009 年から 2011 年の 3 年間は J 1 年間順位下位 3 チームが自動昇格、J 2 年間上位 3 チーム

が自動昇格する方式だったが、2012 年以降からは J 1 年間順位下位 3 チーム自動降格はそのまま、J 2 から自動昇格するチームを 3 チームから 2 チームに減じた上で、残る 1 チームを J 2 年間順位の 3 位～6 位までのトーナメント方式で戦う方式になった。

そしてさらに 2018 年以降から J 1 年間 16 位と J 2 の 3 位～6 位が昇格プレーオフのトーナメントを戦い、勝ち残ったチームが来年度の J 1 切符を手にするというシステムが変わった。そして、J 2 の 21 位～22 位が自動降格、J 3 の 1 位～2 位が自動昇格する。なので、毎年違ったチームが試合をするのでおもしろい。

4. 終わりに

J リーグが始まって 25 年。毎年いろいろと方針が変更されるなど進化をしていき、日本でもどんどんとメジャーなスポーツになってきた。日韓ワールドカップも開催され大いに盛り上がった。そういったことで、サッカーをしたい子供たちが増え、プロを目指す子がたくさん出てき日本サッカーの成長にも繋がっていく。そうしたら J リーグのレベルも今まで以上になり世界でも通用するチームや人材が出てくることに繋がる。

これからもどんどん日本サッカーは盛り上がり、進化していきましょう。これから先進化し成長していく日本サッカー、J リーグに期待したい。

＜参考文献＞

柳田東一郎『プロジェクト X 挑戦者たち』（宙出版、2004 年）。

サッカーキング編集部「J1, J 2 昇格システム変更」
<<https://www.soccer-king.jp/news/japan/national/20170627/605727.html>
2017/9/26 アクセス。>